

歴史館報 収録内容のご紹介

品名	単価(円)	送料(円)	収録内容
新刊 歴史館報第38号	1,200	290	鎌倉後期北下総を中心とする真宗の展開 —親鸞没後の門徒の動向を探って— 幕末水藩「下土」登用探索 —党争解明への一視点— 研究ノート 茨城型人物埴輪の背景にあるもの 平成13年～平成22年の茨城の年表 平成22年度地域共同史料調査概要
歴史館報第36号	800	290	全史料協と公文書館法の制定 史料紹介 伊藤友勝家所蔵「天和三年 当屋敷請取帳 附元禄七年 添地帳 共」にみる水戸藩前期の武家屋敷 資料紹介 銘「薩州住正清」刀について 平成20年度霞ヶ浦沿岸共同史料調査概要
歴史館報第35号	1,000	290	長谷川愛石コレクション 常総地方における弥生式中期末葉の土器群 —足洗式、桜井式、天神原式と渦文土器の終焉— 近世中期における検地帳所持をめぐるある由緒の行方 久木家文書にみる「自彊舎」の教育活動の一端 茨城県立歴史館における学習支援事業 平成19年度霞ヶ浦沿岸共同史料調査概要
歴史館報第30号	600	210	第30号の刊行に寄せて 運用課の仕事のあれこれ、歴史館での県史編さん、大河ドラマと企画展 看板の歴史とその形態 —江戸看板を中心として— 水戸教学と水戸の学校教育 —水戸市立三の丸小学校の事例を中心に— 歴史館における公文書館的業務の沿革試論(上) 平成14年度霞ヶ浦沿岸共同史料調査概要 館報総目次(1～30号)
歴史館報第22号	900	290	史料の保存と取り扱い 朱舜水と大日本史編纂について 長島耐信筆写本 木村謙次「蝦夷日記」抄(その二) 横山大観—明治前半期について— 東南アジアの民具について—企画展「東南アジアの民族造形」の中から
歴史館報第21号	900	290	那珂川流域の古代文化研究(一)—東茨城郡桂村を中心に— 「府中松平藩」覚書(上) 青山延子の封事について 茨城県における学制実施過程—茨城県布達の検討を通じて— 覚書 忘れられた言論人佐藤勇作(秋蘋)の足跡から(二) —社会問題・社会主義に関する言動とその周辺—
歴史館報第15号	800	290	茨城県縄文中期集落の変遷(三) —竜ヶ崎ニュータウン内遺跡を中心として— 売券に関連して作成された証文の一考察 近世雪入村にみる騒動の諸型態 青山延子著「皇朝史略」の刊行をめぐる二、三の問題 —延子宛藤田幽谷書翰を中心として— 「石岡」という呼称に関する一考察
歴史館報第14号	800	290	茨城県縄文中期集落の変遷(二) —竜ヶ崎ニュータウン内遺跡を中心として— 古代常陸国久慈郡の郷について —岡田・八部、美和、佐都、山田、余戸郷を中心に— 日立鉾山創業期の鉾毒水問題と土地占有
歴史館報第11号	800	290	瓜連町弘願寺蔵本「七人童子絵詞」—巖島明神靈験記—について 近世杉崎村の領主と年貢 幕末維新期における旗本北条氏支配と農民闘争 明治末期村政動揺の一件